

興福寺・東大寺 春日大社map

東大寺盧舍那仏像(るしやなぶつぞう)、通称奈良の大仏さま。8世紀前半 聖武天皇の時代は、災害や争乱、天然痘などの疫病が頻発していた。天皇は仏にすがる思いで、全国に国分寺を創建し、総国分寺として東大寺を造営した。752年に開眼供養会(魂を天皇、上皇を含めた1万数千人が参列し、開眼を見守ったという。この時、開眼導師を務めたのはインドの高僧だった、というのが有名な話。

藤原鎌足とその子不比等(ふひと)ゆかりの寺院。都が京へ遷都したのちも絶大な勢力を誇り、室町時代まで大和国を支配し続けた。1467年に発生した応仁の乱にも興福寺別当(最高責任者)は大きく関わっている。

百夜月(ひやくやづき) 近鉄奈良線 近鉄奈良駅

テストによく出たきた正倉院。中には大仏開眼会で使用された仏具など奈良時代のお宝が大切に保管されている。外構は見学可能。

平家による焼討後、再興に伴い運慶・秋鷹らによって造られた金剛力士像が見もの。

歴史あるクラシックホテル。

2018年に創建1300年を迎えた。

二月堂では毎年3月1日～14日に、修二会(お水取り)が行われる。修二会とは仏教の法会の一つで、過去の罪を懺悔し、天下泰平、五穀豊穡を願うもの。1000年以上前から行われてきた歴史ある行事で、修二会のシンボリック行事「お松明(二月堂の舞台上で火のついた松明を振り回す)」にはかなりの見物人が集まる。



この地図の作成に当たっては、国土地理院の承諾を得て、南緯東経の座標(国土地理院)及び電子版(地名情報)を使用し、(複製番号 平30000000) ©IMAHACHI